

シルミオーネ、Sirmione

シルミオーネ (Sirmione) は、日本でも有名な観光地ですから、もう、皆さん行っていることと思います。ガイドブックにも出ているガルダ湖の南端に突き出た半島の先の島にある非常に有名な観光地です。半島から島には橋がかかっている、ちょうど江ノ島のようなものです。

シルミオーネがあるガルダ湖はイタリアで一番の大きさです。氷河時代にアルプスの氷河がここまで流れて来て止まり深さが 346 メートルもある湖を作ったのです。しかもガルダ湖の最深部は海面よりも深いのです。氷河は本当にすごいですね。この事実は今回の観光で始めて知りました。従って、最深部の水はいつまでたっても海には流れて行かないことになります。不思議ですよ。また、このあたりは冬でも温暖な気候で温泉も出るので、ローマ時代から避暑地として栄えていたそうです。だから、ローマ人も温泉つきの大きな別荘を建てたのでしょう。

半島から橋を渡ってシルミオーネの街に入ったところにスカラ家の城塞があり、そこからシルミオーネの街がその先の温泉 (テルメ) とローマ時代の遺跡まで繋がっています。そこには、観光地には絶対にあるみやげ物屋、ブランド店、ジェラート屋、カフェにレストランがずらっと並んでいます。もちろん、イタリアですから、その街並みには古い石造りの中世の建物や教会もあります。但し、それよりも、何よりも、ガルダ湖の景色が素晴らしいところです。この日も、ガルダ湖はうっすらと霞んでいたのですが、それが何とも言えない美しさを醸し出していました。特に、湖の青さと空の青さが同じ色になり非常に印象的でした。やはり、有名な観光地というのは、そうなるだけのものが揃っているのです。この日の良い天気は大勢の観光客もひき連れていました。





街の外れに有料の豪華な温泉設備があります。ここに入出入りしている人は、日本と同様にお年寄りが多いようです。硫黄の匂いに誘われて更に足を進めると、湖の畔にも温泉がありました。ここは、有料の温泉設備に比べると非常にシンプルですが、最高に気分は良さそうです。



更に島の先端に歩いていくと、ローマ遺跡があります。ここはローマ時代のヴィラの遺跡なので、あまり期待はしてなかったのですが、予想に反して期待以上でした。遺跡の内容も良かったのですが、それよりも、ここから遺跡の背景としてのガルダ湖の眺めが最高です。ローマ人は、この島で一番景色の良いところにヴィラを建てたことは直ぐにわかりました。



ガルダ湖はロンバルディア州の東の端でブレージャとヴェローナの間にあります。ガルダ湖はテーマ・パークもあり、ミラノでは人気 No.1 の観光地です。シルミオーネに行くには、まず、ガルダ湖の遊覧船の起点でもあるデセンツァーノまで行きます。デセンツァーノは、ミラノ中央駅又はミラノ・ランブラーテ駅（ヴェローナ行きの普通列車が 1-2 時間間隔であり、所要時間 1 時間 15 分、料金は 6.95 ユーロです）からイタリア国鉄に乗りブレージャの次の駅です。デセンツァーノ駅からシルミオーネまでは、遊覧船（30 分-1 時間間隔）かバス（1 時間間隔）で行く事が出来ます。バスはブレージャとヴェローナを結ぶ路線バスがシルミオーネに立ち寄りますので、そのバスにデセンツァーノの駅前の停留所から乗る事が出来ます。所要時間はたったの 20 分（B エリアで料金 1.65 ユーロで、チケットは駅のタバッキで購入できます）ですが、バスは空調つきのきれいなバスです。遊覧船でも所要時間は 20 分ほどです。デセンツァーノにはドゥオモやお城などの観光名所がありますので、駅から散歩しながら 10-20 分ほど歩いてガルダ湖畔に出て遊覧船で行くのも良いと思います。ここは、人気のある観光地ですから日曜日でもバスや遊覧船は普段の日と変わりませんので、いつでも日帰りで行く事が出来るところです。